

授業科目名 (英文名)	災害と人と健康(専門関連科目)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	
担当教員	富永 良喜	所属	防災教育研究センター
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	災害を経験することで、被災者は精神的・身体的ダメージを少なからず受ける。家族の喪失や、避難所や仮設住宅での生活など被災前と異なる環境を強いられることで、こころや身体の状態の維持が困難となりうる。本講義では、「人」に視点を置き、災害により変化する生活環境やそれにより生じる課題を理解するとともに、被災者支援のための様々な方策や取組みについて外部講師も招き学ぶ。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>被災者のこころと身体の状態に影響を及ぼす要因と対策について、災害発生からの時間経過とともに変化する生活環境や地域コミュニティ等を軸として学ぶ。具体には、避難所や仮設住宅等における生活環境とストレス要因、その対策として必要となる医療活動、健康支援のための社会システムや行政・NPO等の取組み、被災者をとりまくコミュニティのあり方等について講義する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義のねらい：被災者のストレスと回復・・・富永良喜 2. 被災者が抱える課題（災害直後）・・・宮本匠 3. 被災者が抱える課題（復旧・復興）・・・青田良介 4. 災害看護 5. 災害時要援護者への支援 6. 災害医療の意義とその取組み 7. 被災地でのスクールカウンセリング 8. 海外における心のケア人材育成 9. 被災児童が抱えるこころの問題と学校防災教育 10. 被災体験を語ることの意義と課題 11. NPOによる被災者支援 12. 被災者の自立と地域コミュニティの取組み 13. 学生ボランティアの取組み 14. 震災遺族の健康と支援 15. 講義のまとめ・・・富永良喜 		
テキスト	パワーポイントを中心に関連する資料を適宜配布する。		
参考文献	なし		
成績評価の基準・方法	毎回の講義の終了時に感想文の記述を求める。その内容や授業態度等で評価する。出席状況、レポート、小テスト等により評価する。		
履修上の注意・履修要件	防災教育ユニットの専門教育科目であり、環境人間学部専門教育科目及び看護学部専門関連科目 でもある。防災教育ユニット生は是非履修して欲しい。		
実践的教育	該当しない		
備考	本講義は、災害医療・看護・福祉等の専門家も含めたオムニバス形式で行われる。		